

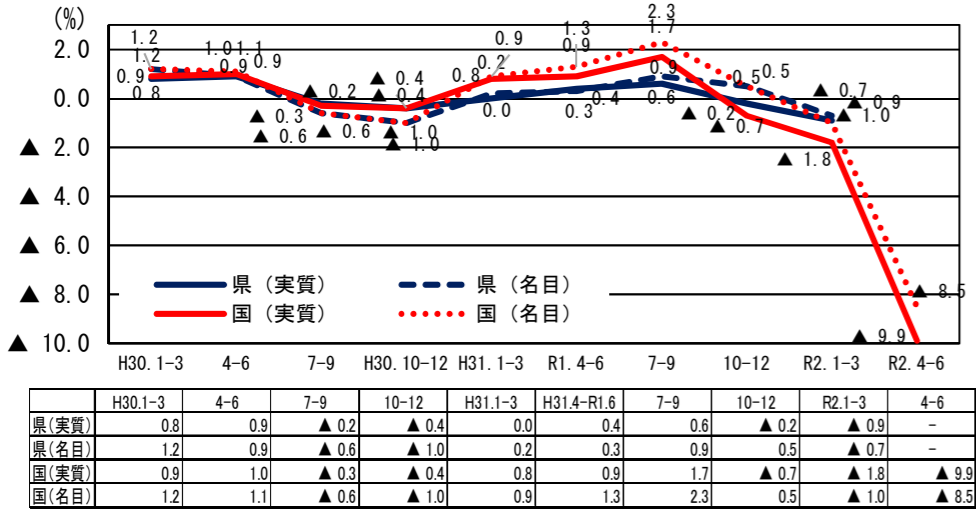
足下の経済・雇用情勢

※業種別の状況は別添資料参照

1 GDP及び業況

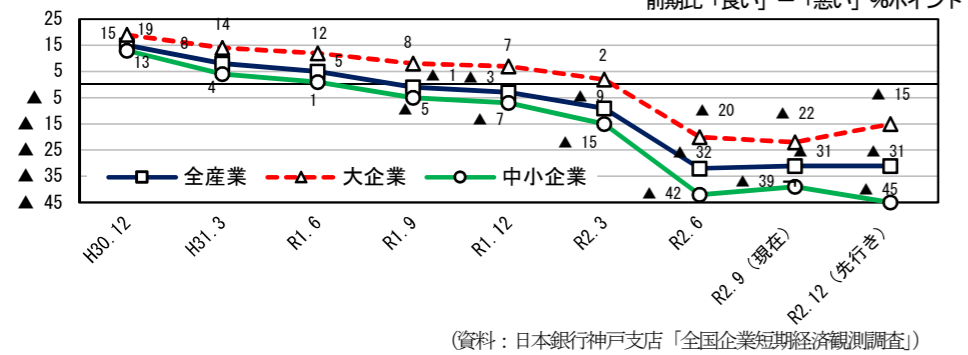
四半期別GDPは、令和2年4~6月期において、国は実質で対前年同
期比9.9%、名目で8.5%のマイナスとなり、県も大きく低下するものと考
えられる。(図表1) また、企業の業況判断は、足もと、先行きとも、依然
として厳しいと見込まれている。(図表2)

図表1【四半期別GDP成長率(兵庫県・全国)】



(資料: 内閣府「四半期別GDP速報」、県統計課「兵庫県県民経済計算」「四半期別兵庫県内GDP速報」)

図表2【業況判断DI(兵庫県)】

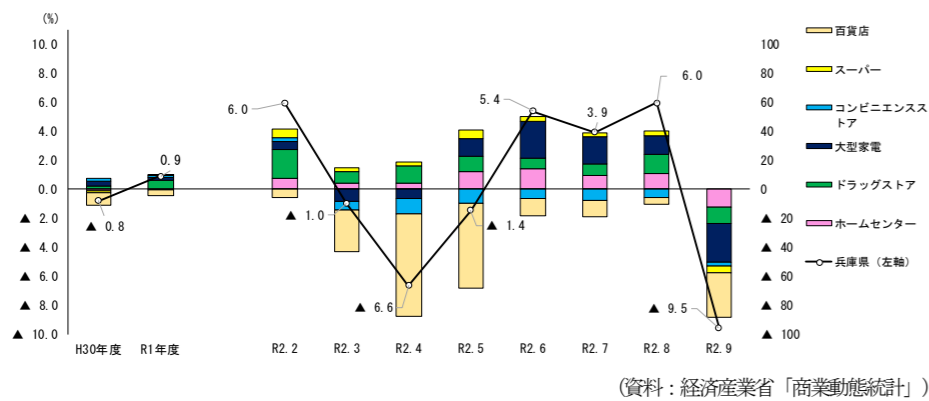


(資料: 日本銀行神戸支店「全国企業短期経済観測調査」)

2 需要

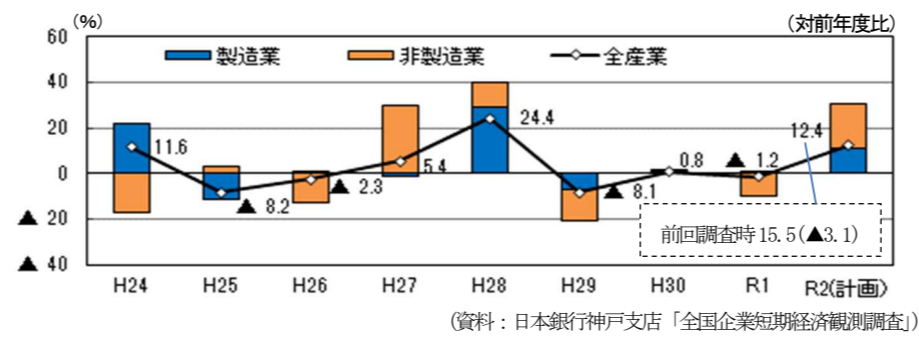
商業販売額は、3か月連続で前年同月を上回り、持ち直しの動きが
続いている。(9月は前年の消費増税の駆け込み需要の反動減)(図表3)
設備投資は、増加が計画されているが、下方修正の動きも見られる。
(図表4)
主要ホテル(神戸市内)の稼働率は改善の傾向。(図表5)

図表3【商業販売額増減率(兵庫県)】



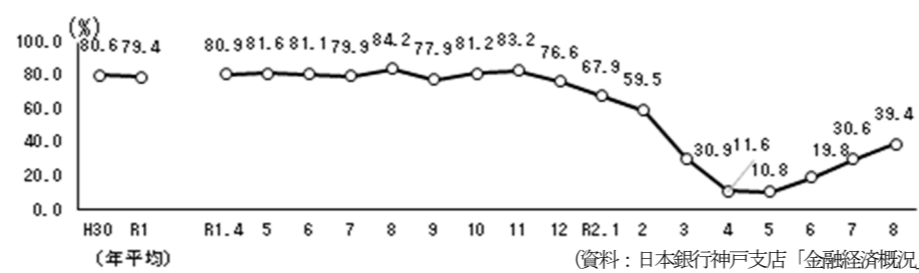
(資料: 経済産業省「商業動態統計」)

図表4【設備投資の増減率(兵庫県)】



(資料: 日本銀行神戸支店「全国企業短期経済観測調査」)

図表5【神戸市内主要ホテル平均稼働率(神戸市内)】

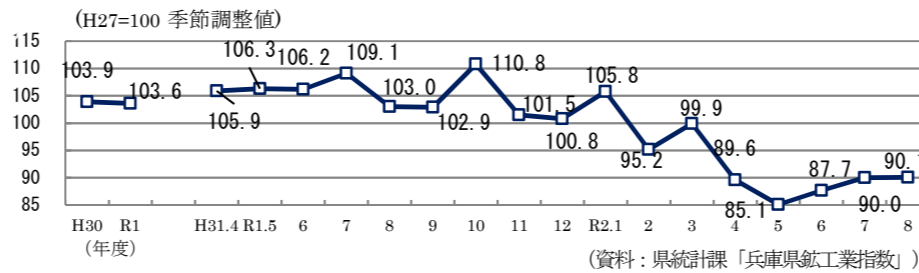


(資料: 日本銀行神戸支店「金融経済概況」)

3 企業活動

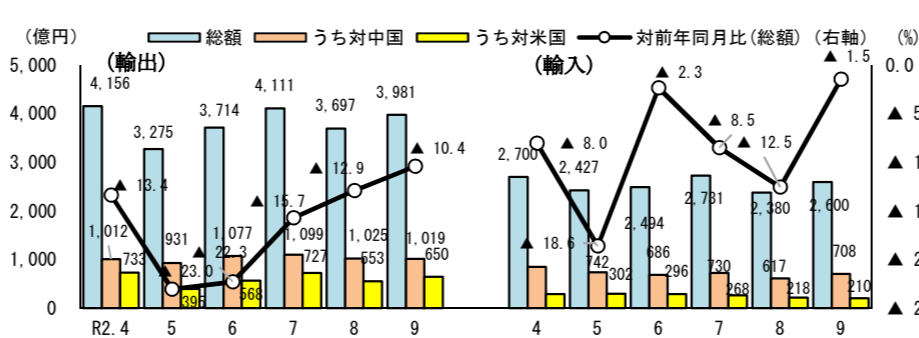
鉱工業生産は、5月を底に持ち直し基調。(図表6) 神戸港の貿易額は
アジア向けを中心に弱含んでおり、対前年同月比マイナスで推移。(図表7)
県制度による融資を着実に実行する中、足もとの県内企業倒産は28件
と、前年同月比大幅減。資金繰りは、「楽である」とする企業の超過幅が
減少。預貸金残高は前年度を大きく上回っている。(図表8、9、10、11)

図表6【鉱工業生産指数(兵庫県)】

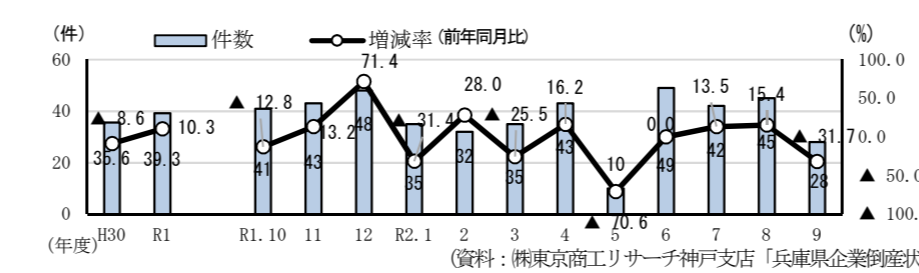


(資料: 県統計課「兵庫県鉱工業指数」)

図表7【神戸港貿易額】



図表8【企業倒産件数(兵庫県)】



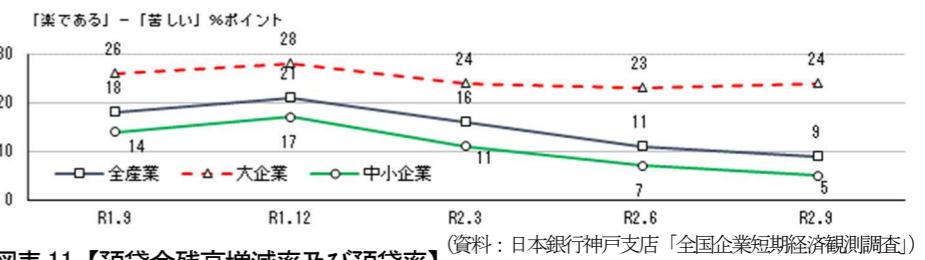
(資料: 株式会社東工リサーチ神戸支店「兵庫県企業倒産状況」)

図表9【県中小企業融資制度による融資実績(10月30日時点)】(単位:百万円)

制度名	区分	件数	金額
新型コロナウイルス対策貸付(2/25~)	保証承諾	3,213	64,361
	融資実行	3,208	64,051
新型コロナウイルス危機対応貸付(3/16~)	保証承諾	1,268	48,330
	融資実行	1,262	48,080
経営活性化資金(3/16~)	保証承諾	472	14,949
	融資実行	460	14,597
借換等貸付(3/16~)	保証承諾	146	4,631
	融資実行	142	4,508
新型コロナウイルス感染症対応資金(無利子・無保証料)(5/1~)	保証承諾	40,322	675,746
	融資実行	39,019	655,722
新型コロナウイルス感染症保証料応援貸付(6/22~)	保証承諾	1,645	54,275
	融資実行	1,499	49,755
合計	保証承諾	47,066	862,292
	融資実行	45,590	836,713

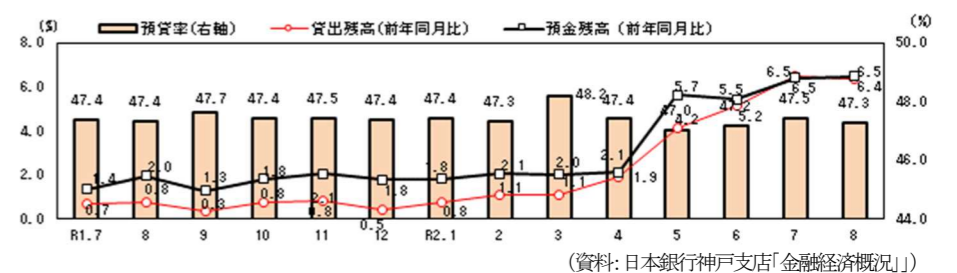
(資料: 県産業労働部
地域金融室
まとめ)

図表10【資金繰り判断(兵庫県)】



(資料: 日本銀行神戸支店「全国企業短期経済観測調査」)

図表11【預貸金残高増減率及び預貸率】

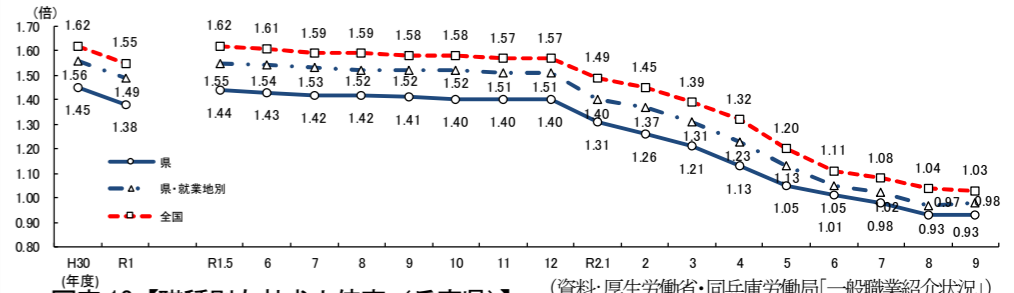


(資料: 日本銀行神戸支店「金融経済概況」)

4 雇用

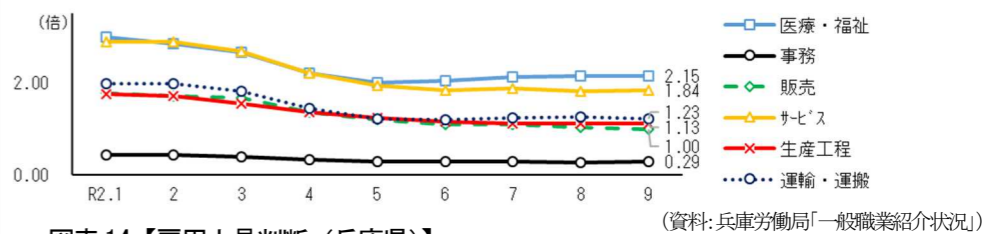
有効求人倍率は下げどまり基調。(図表12) 職業別では、業績の悪化が
懸念される職種での低下が顕著となっている。(図表13)

図表12【有効求人倍率(兵庫県)】



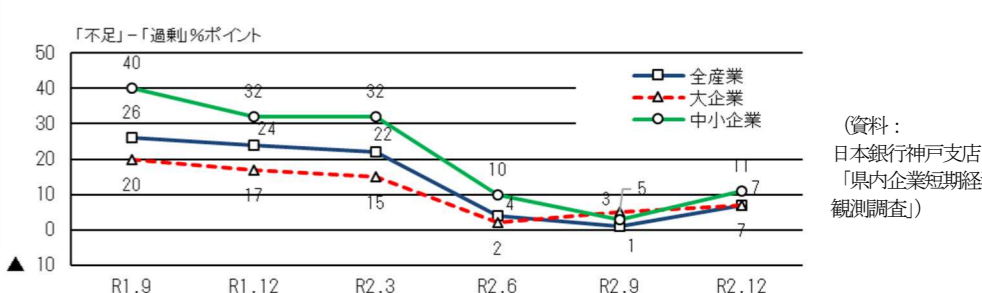
(資料: 厚生労働省・同兵庫県労働局「一般職業紹介状況」)

図表13【職種別有効求人倍率(兵庫県)】



(資料: 兵庫県労働局「一般職業紹介状況」)

図表14【雇用人員判断(兵庫県)】



(資料: 日本銀行神戸支店
「県内企業短期経済
観測調査」)

新型コロナウイルス感染症の影響による足下の経済・雇用情勢

1 概況

製造業では、生産の落ち込みは全国と比較して小さいが、航空機関連の非鉄金属需要の激減や、対米国向けの建設・鉱山用機械の輸出減、飲食店向け飲食料品の販売減が見られる。景況感は、現状及び先行きとも厳しい判断となっている。

非製造業では、宿泊・飲食など主に対人サービスで売上や稼働率の低下が見られ、景況感も厳しい判断となっている。一方、GoTo トラベル等の効果が発現している。

新規求人数は幅広い業種で減少している。

新型コロナウイルス感染症関連の倒産は、中小企業融資制度の活用等により低位に留まっている。

2 企業景況感

(現状「良い」－「悪い」) 構成比 (%ポイント)

区分	R2.3月	R2.6月	R2.9月(現在)	R2.12月(予測)
全産業	▲9	▲32	▲31	▲31
うち中小企業	▲15	▲42	▲39	▲45

【主な業種】

区分	R2.3月	R2.6月	R2.9月(現在)	R2.12月(予測)
製造業	▲17	▲37	▲37	▲38
非製造業	0	▲27	▲23	▲24
うち卸売	▲14	▲39	▲46	▲50
うち対個人サービス	0	▲63	▲50	▲38
うち宿泊・飲食サービス	▲67	▲100	▲100	▲100

(県内企業短期経済観測調査(日本銀行神戸支店))

3 生産(鉱工業指数)

(H27年=100 [季節調整済指数]、() 内前月比増減率%)

区分	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8
兵庫県	95.2 (▲4.3)	99.9 (4.9)	89.6 (▲10.3)	85.1 (▲5.0)	87.7 (3.1)	90.0 (2.6)	90.1 (0.1)
全国	99.5 (▲0.3)	95.8 (▲3.7)	86.4 (▲9.8)	78.7 (▲8.9)	80.2 (1.9)	87.2 (8.7)	88.1 (1.0)

【主な業種】

区分	鉄鋼・非鉄金属	生産用機械	はん用・業務用機械	輸送機械	化学工業	食料品	
兵庫県	R2.5	61.0	64.3	105.4	71.0	120.6	87.6
	R2.6	59.1	72.2	105.8	90.9	129.2	91.8
	R2.7	62.1	70.8	114.4	85.3	132.8	93.5
	R2.8	67.1	68.0	120.8	111.9	105.7	87.9
全国	R2.5	66.9	85.3	80.0	49.4	90.5	95.5
	R2.6	66.2	94.0	80.4	61.3	91.3	93.6
	R2.7	73.7	89.7	85.2	79.9	93.0	99.4
	R2.8	78.5	80.8	86.9	86.8	95.3	97.1

(鉱工業指数(経済産業省、県統計課))

4 輸出入

〔輸出〕

(単位：億円、()内前年同月比増減率)

区分		R2. 1-6	R2. 7	R2. 8	R2. 9	昨年度との比較(R2. 9)
神戸港	計	23,785 (▲16.2%)	4,111 (▲15.7%)	3,697 (▲12.9%)	3,981 (▲10.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・米国向け建設・鉱山用機械の減(▲119) ・中国向けプラスチック、非鉄金属の増(+82)
	米国	3,905 (▲18.6%)	727 (▲12.4%)	553 (▲14.0%)	650 (▲12.7%)	
	中国	5,706 (▲14.0%)	1,099 (▲3.5%)	1,025 (▲0.6%)	1,019 (10.8%)	
	中国以外アジア	8,601 (▲16.0%)	1,319 (▲20.2%)	1,355 (▲14.3%)	1,442 (▲17.4%)	
	EU	2,938 (▲5.8%)	473 (▲4.7%)	372 (▲23.9%)	440 (▲11.2%)	
近畿圏	計	73,695 (▲7.4%)	12,245 (▲11.8%)	12,049 (▲8.7%)	13,348 (▲5.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・中国向け非鉄金属、プラスチックの増(+131) ・その他アジア向け鉄鋼、半導体等製造装置の減(▲253)
	米国	10,009 (▲13.9%)	1,783 (▲14.4%)	1,426 (▲22.1%)	1,913 (▲5.5%)	
	中国	18,721 (▲0.2%)	3,560 (7.0%)	3,499 (7.1%)	3,724 (12.9%)	
	中国以外アジア	30,901 (▲4.6%)	4,915 (▲14.0%)	5,105 (▲6.9%)	5,432 (▲9.9%)	
	EU	7,394 (▲11.6%)	1,115 (▲14.0%)	1,049 (▲22.9%)	1,181 (▲13.1%)	
全国	計	323,642 (▲15.4%)	53,692 (▲19.2%)	52,331 (▲14.8%)	60,551 (▲4.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋港等から米国向けの自動車の増(+609) ・中国向け自動車の増(+230) ・半導体等製造装置の増(+316)
	米国	56,962 (▲27.2%)	10,913 (▲19.5%)	9,369 (▲21.3%)	11,953 (0.7%)	
	中国	67,765 (▲3.6%)	13,291 (8.2%)	12,616 (5.1%)	13,417 (14.0%)	
	中国以外アジア	117,653 (▲11.0%)	18,472 (▲17.3%)	18,175 (▲15.0%)	20,353 (▲10.3%)	
	EU	32,102 (▲17.7%)	4,393 (▲30.5%)	4,763 (▲19.2%)	5,541 (▲10.6%)	

〔輸入〕

(単位：億円、()内前年同月比増減率)

区分		R2. 1-6	R2. 7	R2. 8	R2. 9	昨年度との比較(R2. 9)
神戸港	計	15,504 (▲9.2%)	2,731 (▲8.5%)	2,380 (▲12.5%)	2,600 (▲1.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・EUからのたばこ(+127)の増 ・その他アジアからの鉱物性燃料の減(▲78)
	米国	1,687 (▲7.9%)	268 (▲3.8%)	218 (▲28.8%)	210 (▲18.6%)	
	中国	4,083 (▲14.2%)	730 (▲11.3%)	617 (▲11.6%)	708 (▲2.5%)	
	中国以外アジア	3,993 (▲8.7%)	712 (▲10.9%)	649 (▲9.7%)	653 (▲12.8%)	
	EU	3,010 (5.4%)	616 (13.4%)	544 (▲0.8%)	720 (41.9%)	
近畿圏	計	66,472 (▲8.8%)	10,943 (▲18.5%)	9,965 (▲17.0%)	10,767 (▲11.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・米国からの医薬品の増(+135) ・EUからのたばこの増(+122) ・中国からの通信機の減(▲264)
	米国	6,535 (▲9.8%)	955 (▲23.6%)	873 (▲33.9%)	1,026 (9.4%)	
	中国	21,462 (▲4.4%)	3,680 (▲9.5%)	3,134 (▲10.1%)	3,565 (▲8.1%)	
	中国以外アジア	17,123 (▲7.2%)	2,860 (▲12.8%)	2,597 (▲14.7%)	2,799 (▲15.8%)	
	EU	7,780 (▲6.1%)	1,675 (9.8%)	1,336 (1.1%)	1,707 (12.8%)	
全国	計	346,038 (▲11.6%)	53,621 (▲22.3%)	49,845 (▲20.8%)	53,801 (▲17.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ・中国からの通信機の減(▲1,224) ・その他アジア(中東)からの鉱物性燃料の減(▲2,803)
	米国	39,452 (▲9.7%)	5,793 (▲25.4%)	5,638 (▲21.9%)	5,624 (▲9.9%)	
	中国	84,796 (▲6.7%)	14,569 (▲9.7%)	13,193 (▲7.0%)	14,286 (▲11.9%)	
	中国以外アジア	86,931 (▲8.0%)	13,842 (▲16.7%)	12,587 (▲15.0%)	13,592 (▲13.3%)	
	EU	39,401 (▲11.3%)	6,518 (▲14.3%)	5,574 (▲22.0%)	6,799 (▲13.0%)	

5 雇用

〔新規求人数〕

(単位：人、() 内対前年同月比増減率%)

区分	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9
兵庫県	32,491 (▲17.6)	28,367 (▲13.5)	23,868 (▲32.3)	23,315 (▲32.3)	27,953 (▲13.0)	25,631 (▲28.4)	24,397 (▲29.2)	29,507 (▲12.0)
全国	897,143 (▲13.5)	834,554 (▲12.1)	656,148 (▲31.9)	637,335 (▲32.1)	756,004 (▲18.3)	700,142 (▲28.6)	662,446 (▲27.8)	758,091 (▲17.3)

【主な業種】

区分	新規求人数	建設業	製造業	卸売	小売	宿泊	飲食	
兵庫県	R2.6	27,953 (▲13.0)	2,760 (▲7.8)	2,487 (▲29.6)	759 (▲15.2)	2,162 (▲26.4)	518 (▲36.2)	2,214 (38.2)
	R2.7	25,631 (▲28.4)	2,513 (▲10.2)	2,235 (▲38.6)	712 (▲27.9)	2,205 (▲45.7)	396 (▲42.3)	1,851 (▲34.1)
	R2.8	24,397 (▲29.2)	2,133 (▲20.9)	2,233 (▲49.2)	616 (▲27.1)	2,258 (▲32.7)	283 (▲56.6)	2,140 (▲18.9)
	R2.9	29,507 (▲12.0)	2,845 (▲5.1)	2,902 (▲24.1)	833 (▲8.4)	2,377 (▲10.6)	599 (▲8.1)	2,096 (14.5)
全国	R2.6	756,004 (▲18.3)	81,417 (2.6)	58,117 (▲34.2)	21,646 (▲23.9)	73,624 (▲27.7)	11,012 (▲45.6)	47,834 (▲24.2)
	R2.7	700,142 (▲28.6)	73,649 (▲9.8)	56,011 (▲40.9)	19,815 (▲34.2)	71,628 (▲33.2)	13,084 (▲36.8)	36,114 (▲46.2)
	R2.8	662,446 (▲27.8)	66,076 (▲6.4)	53,524 (▲38.3)	18,998 (▲31.3)	70,756 (▲34.7)	8,766 (▲56.8)	32,174 (▲46.4)
	R2.9	758,091 (▲17.3)	82,256 (▲6.4)	66,770 (▲26.7)	22,785 (▲24.1)	70,545 (▲29.5)	12,110 (▲40.3)	42,680 (▲30.9)

(一般職業紹介状況(厚生労働省、同兵庫労働局))

〔解雇・雇い止めの状況(コロナ関連・累計・10/23現在)〕

※() 内は前回(8/14)対比

区分	雇用調整の可能性がある事業所数	解雇等見込み労働者数
兵庫県	1,787 事業所 (+381 事業所(+27.1%))	1,992 人 (+501 人(+33.6%))
全国	111,940 事業所 (+31,450 事業所(+39.1%))	68,140 人 (+22,490 人(+49.3%))

(新型コロナウイルス感染症に起因する雇用への影響に関する情報について(兵庫労働局、厚生労働省))

6 金融(企業倒産件数)

(単位：件、() 内対前年同月比増減率%)

区分	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9
兵庫県	43(16.2)	10(▲70.6)	49(0.0)	42(13.5)	45(15.4)	28(▲31.7)
全国	743(15.2)	314(▲54.8)	780(6.3)	789(▲1.6)	667(▲1.6)	565(▲19.5)

〔新型コロナウイルス感染症に関連した倒産(累計、10/30現在)〕() 内は前回対比

区分	兵庫県	全国
件数	29(+13)	646(+233)
うち飲食関連	10(+8)	170(+59)
うちアパレル関連	9(+5)	67(+18)
うち宿泊業	1(0)	54(+14)

飲食関連：飲食店、飲食料品製造業、
飲食料品卸売業
アパレル関連：製造、販売

(株)東京商工リサーチ

7 県内企業の状況（企業への聞き取り等）

	業 種	概 況
製造業	鉄 鋼	<ul style="list-style-type: none"> 自動車メーカーの操業停止、受注減により、生産調整を実施。 鉄鉱石や石炭等、主原料価格の上昇が業績へ悪影響を及ぼしている。
	非鉄金属	<ul style="list-style-type: none"> 航空需要の落ち込みにより、主力製品である航空機関連のチタン需要が急減。国内向け一般産業用途も不調で減産を実施。 通期業績は売上高で5～6割減を予想。
	輸 送 用 機 械	<ul style="list-style-type: none"> 自動車向けカーマット等の8月の売上は前年同期比15%減。 各自動車メーカーによる9月以降の生産予定では、現状より増産予定ではあるが例年の水準には至らない見込み。
	食 料 品	<ul style="list-style-type: none"> スーパー等で販売している家庭用商品が巣ごもり消費で好調であるため、増産体制で対応。一方、飲食店向けの業務用商品の売上は激減。
地場産業	真 珠	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での海外渡航自粛、商談の中心地である香港の政情不安から、商談や輸出ができていない状況。 9月の売上は、前年同月比9割程度減少の見込み。
	ケミカル シューズ	<ul style="list-style-type: none"> 9月の売上は、前年同月比5割程度減少の見込み。 10月に翌春商品の展示会を開催したが、国内の各小売店も本年春・夏分の在庫を抱えており、大幅な受注増は見込みづらい。
	豊 岡 か ば ん	<ul style="list-style-type: none"> OEMの受注停止や小売店の売上減が生産に大きく影響。 9月の売上は、前年同月比6割程度減少の見込み。
	清 酒	<ul style="list-style-type: none"> 8月の出荷数量は、前年同月比約2割減少。 10月の酒税減税を見すえた買い控えも見られたようである。
非製造業	観 光・ 宿 泊 業	<ul style="list-style-type: none"> ホテル（神戸市）では、稼働率は40～50%程度で推移。GoTo旅行キャンペーン等により土日の稼働率は7割程度まで回復している一方、平日は、インバウンドやビジネス利用客が激減し、20%程度と低調。 有馬温泉では、9月の4連休において、ほとんどの宿泊施設が満室と盛況。それ以外の金土日は7割程度の予約で推移。 城崎温泉では、9月の4連休において最終日を除き、各宿泊施設ともほぼ満室を記録。かにシーズン（11/6～）の予約は例年並みに入っている。 塩田温泉は、9/5日（土）の予約は5割程度であったが、それ以外は8割程度埋まっていた。特に4連休は満室を記録。10月以降の週末も予約が入り始めており、ほぼGoTo旅行キャンペーンを利用。
	飲 食 店	<ul style="list-style-type: none"> 9月売上は対前年比1割減。当面の見通しとして、売上・収益とも前年度比で微減を見込む。
	百 貨 店	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市内の百貨店では、来店客数、売上、平均滞留時間が減少しているが、都心に出づらいい心理から、大阪の店舗より回復が早い傾向。インバウンド客が見込めないものの、海外に行けない顧客のラグジュアリー商品の購入が業績に寄与。
	各 種 小 売 業	<ul style="list-style-type: none"> スーパーでは、7・8月の食料品の売上が、外出自粛、在宅勤務等の影響もあり、対前年比1割程度増加（客数減・単価増）。 コンビニでは、8月の売上は対前年比で15%程度減少。特に繁華街の店舗について、十分に売上が戻っていない。

(参考) 経済・雇用の活性化に向けた本県の取組(トピックス)

【起業・創業の活性化〔起業プラザひょうごの3拠点〕】

- ・ 起業・創業の機運を高めるため、コワーキング施設「起業プラザひょうご」を神戸に設置
- ・ 令和2年度、姫路と尼崎にエリア拠点を整備するとともに、神戸もリニューアルオープン
- ・ 併設する国連機関・UNOPSのGIC(グローバルイノベーションセンター)が11月に開設

区分	起業プラザひょうご	起業プラザひょうご尼崎	起業プラザひょうご姫路
開設時期	令和2年9月1日	令和2年7月29日	
場所	三井住友銀行神戸本部	尼崎市中小企業センター	大手前グレイズBLD. II
規模	774 m ²	240 m ²	280 m ²
特色	SMBCとの官民連携 「UNOPS GIC」併設	市コワーキング施設との一体運営 経営相談員による伴走型支援	若年層も含めた起業家育成 地元企業とのマッチング

【県内への企業立地の推進〔サプライチェーンの強化・再構築、本社機能の移転〕】

〔サプライチェーンの強化・再構築〕

- ・ コロナ禍の影響によりサプライチェーンの脆弱さが顕在化
- ・ 国の「国内投資促進事業費補助金」活用や県産業立地条例により支援

企業名	事業概要	所在地
(株)カネカ	生分解性素材の製造	高砂
(株)カネツ	自動車部品の製造	明石、加西・三木
三田電気工業(株)	人工関節の製造	神戸市西区
フェニクス電機(株)	不織布マスクの製造	姫路
三菱製紙(株)	不織布の製造	高砂

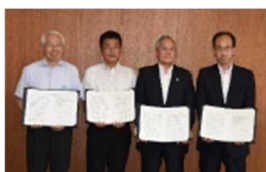
〔(株)パソナグループの本社機能の移転〕

- ・ チャレンジファームの実施(H20)を皮切りに、淡路島で事業を展開
- ・ 今般、本社機能を淡路島島内に移転する計画を表明(社員1,200名規模の想定)
- ・ 産業立地条例による支援や庁内プロジェクトチームでの対応を行い、今後の首都圏からの拠点移転の呼び水になることを期待

【雇用の維持・確保〔地域経済・雇用の維持に関する合意、緊急雇用創出事業の実施〕】

〔地域経済・雇用の維持に関する合意〕

- ・ 連合・経営者協会・県・労働局の四者で「地域経済と雇用に関する取組の推進」に合意
- ・ 「ひょうごスタイル」に沿った労働環境を整備し、仕事と生活の調和が取れた社会の実現を目指す。



〔緊急雇用創出事業〕

- ・ コロナ禍により離職を余儀なくされた労働者に向け、緊急対応型の雇用創出1,000人分、職業訓練枠800人分を確保

ひょうご緊急雇用対策プログラム	100人
緊急雇用対策職業訓練	800人
各市町雇用対策分	約200人
緊急雇用型雇用創出事業	1,000人

【感染症対策と両立した観光関連産業の消費喚起〔Welcome to Hyogoキャンペーンの展開等〕】

- ・ 国のGoToトラベルキャンペーンに先行して、本県独自のキャンペーンを実施
- ・ 感染症対策と両立した新しい観光のあり方を、「ひょうご旅スタイル」として観光関連産業事業者と連携して推進

区分	GoToトラベル(国)	Welcome to Hyogoキャンペーン(県)
期間	令和2年7月22日～	令和2年6月26日～
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行代金割引(旅行代金の35%) ・ 地域共通クーポン(旅行代金の15%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊割引(2,000円/人) (関西2府4県、岡山県、鳥取県、徳島県が対象) ・ 温泉地で使えるお土産券(2,000円/人等) ・ スキー場周辺宿泊施設の利用補助(2,000円/人) ・ バス借上料(3万円/台等) 等